

日本とインドネシアの若手アーティスト 7 名が 音楽を通じた国際共同制作に挑む

1 月 24 日（水）、26 日（金）京都で制作過程の公開と成果報告を実施

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）アジアセンターと 7 名の若手アーティストが協力して、音楽を通じた新たな国際共同制作に挑むプロジェクト、「NOTES: composing resonance」が始動します。2018 年 1 月から 7 名のアーティストが、東京と京都で約 2 週間の滞在制作をおこないます。

本プロジェクトは、滞在中に互いを知り合いながら、共に何ができるかを考え、音楽を通じて表現し、来年度に予定している国際共同制作の発表に向けて、今年度は企画の立案と作品制作を行います。京都にて制作過程公開としての Open Studio（1 月 24 日）と、滞在期間中の成果報告のための Sharing Session（1 月 26 日）を行います。なお、本プロジェクトにはアドバイザーとして、作曲家の野村誠氏とサウンドデザイナーの森永泰弘氏をお迎えしています。



- 【プログラム名】 NOTES: composing resonance
- 【レジデンス日程】 1 月 15 日～20 日 東京滞在（於・BumB 東京スポーツ文化館）
1 月 20 日～28 日 京都滞在（於・スペース RAKUBAKO）
- 【参加者】 會田瑞樹（打楽器奏者）
金子展寛（箏曲家）
木皮成（演出家・振付家・ダンサー・映像作家）
宮内康乃（作曲家）
ガルディカ・ギギー・プラディプタ（作曲家・ピアニスト・即興演奏家）
アグスティヌス・ウェリー・ヘンドラモコ（作曲家・編曲家・伝統楽器演奏家）
アリエフ・ウィナンダ（作曲家・打楽器奏者・ドラマツルク）
- 【アドバイザー】 野村誠（作曲家）、森永泰弘（サウンドデザイナー）
- 【イベント情報】

<Open Studio>（制作過程公開）

日時：1 月 24 日（水）14：00～18：00（時間中、出入り自由）
会場：放光山長福寺 スペース RAKUBAKO（京都市南区東九条烏丸町 34）

<Sharing Session>（成果報告）

日時：1 月 26 日（金）16：00～（開場 15：30）
場所：MTRL KYOTO（京都市下京区本塩竈町 554）
共催：MTRL KYOTO

- 【予約申込方法】 notes@jpf.go.jp までお名前・ご連絡先・参加人数をご記入の上ご連絡ください。
※予約優先となります。どちらも無料イベントですが、報告会ではドリンクチャージがかかります。
- 【主催】 国際交流基金アジアセンター
- 【Web サイト】 <http://jfac.jp/culture/projects/p-notes-composing-resonance/>
- 【公式 Web サイト】 <http://notes.jfac.jp>
- 【Facebook ページ】 <https://www.facebook.com/NOTES.composing.resonance/>